

No.1593


第1594 回例会

2013年9月20日(金) 12:30～13:30
点鐘

ロータリーソング “それこそロータリー”

会食(中華)

会長会務

- * ビジター紹介。
- * 本日はIDMの総括です。先日各班で話し合われたことのご報告をお願いします。
- * 木の話(9)。今回は智頭街道のわらべ館前通りに昔から、植栽されており、世界の街路樹としても有名なプラタナスについてお話しします。
- * 9月の創業祝を差上げます。
坂本 直会員 鈴木一彦会員

幹事報告

- * ガバナー事務所より、地区大会駐車場についてのご案内。
- * 合わせて地区大会のご案内を参加の皆様に、配布させていただきました。
- * 鳥取こども学園より、本の寄贈のお礼状をいただきました。

委員会報告

- * 親睦活動・出席委員会
出席率・スマイル報告
- * ゴルフ同好会 * その他

クラブフォーラム「IDMの総括」

先週(第1593 回例会)の記録

2013年9月13日(金) 12:30～13:30

会長会務

- * 木の話(8) 今日には最近路幅を拡張し、立派に改装された、元大工町通りに植栽されているミズキ科のヤマボウシについてお話しします。ヤマボウシは山に普通にある落葉高木で、高さ10m、胸高直径30cmに達します。葉の形はミズキと同じ可愛い卵円形で良く分かります。葉は長さが4～12cm。幅は3～5cmで、柄は長さ0.5～1cmです。この木の最大特徴は6～7月、小さい枝の先から長さ5～10cmの柄が立ち、その先に白く美しい花(頭状花序)を咲かすことです。この清々しい花は初夏の山を歩く人々に大きな興奮を与えます。ヤマボウシという名前は、空中へすつくと力強く立ち上がる白い花の姿が、比叡山の僧侶の白い頭巾に似ているところから、名付けられました。若い頃、県下の山林土壌調査で毎日苦しい山歩きの最中に、この花に会うと大きな安らぎを感じました。

幹事報告

- * 理事会報告。
10月18日(金) 職場訪問の承認。
詳しくは委員長より報告があります。

ビジター

鳥取 RC 1名

出席率

9月13日 会員52名 欠席9名 82.69%
8月30日 メーキャップ 4名 84.62%

メーキャップ会員

9月8日 広谷全宣会員 田中章夫会員
米山奨学委員長研修会、米山奨学生親睦会
(松江)へ

スマイル

- * 西尾 茂会員 / 岡田健二様、卓話お世話になります。
- * 竹内 隆会員 / IDM 一班に出席の皆様、昨夜は

御苦勞様でした。平野リーダー様、米村世話人様お世話になりました。

- * 岡田信俊会員 / ①岡田健二さん、本日は卓話をよろしく願い致します。② IDM 第3班の皆様、ありがとうございました。楽しい会でした。③太田先生、ありがとうございました。
- * 生馬美津雄会員 / 岡田社長、ご無沙汰しています。卓話楽しみです。
- * 金田卓也会員 / 岡田局長、今日は宜しく願いします。
- * 森下哲也会員 / 岡田社長、本日の卓話よろしく願いします。
- * 米本哲人会員 / 9月10日第3班 IDM、岡田さん、宮本さんお世話になりました。久しぶりにゆかいな会で、出席の口達者の皆様と乾杯しました。
- * 幡 碩之会員 / IDM 岡田リーダー、お世話になりました。宮本さん、大変なごちそういただきました。
- * 吉田 博会員 / IDM 第4班多田リーダー、太田世話人お世話になりました。2次会参加の皆様お疲れ様でした。
- * 加藤一吉会員 / 岡田リーダー、宮本世話人お世話になりました。
- * 倭島昭博会員 / IDM 岡田リーダー様、お世話になりありがとうございました！
- * 多田一昭会員 / 吉田さん、IDM 代打ほかありがとうございました。
- * 岩ノ上洋一郎会員 / ① IDM 第4班のみなさん、お疲れ様でした。遅刻申し訳ございません。②吉田さん 多田さんお世話になりました。
- * 宮本孟尚会員 / IDM 第2班、第3班の皆様ありがとうございました。
- * 坂本 直会員 / 田中先生、先日はお世話になりました。お陰様で、楽になったとのことでした。
- * 森本和夫会員 / 昨日60代での誕生日でした。4歳の孫があまりうれしくもないけど、おめでとーと言ってくれました。
- * 錫木卓朗会員 / 9月18日で何と64歳になります。長生きしたものです。
- * 早退 4件 合計29,000円

職業奉仕委員会 山村保雄委員長

職場訪問のご案内。今回は鳥取大学農学部付属大塚農場を訪ねます。数百種類の梨の木をみる事ができます。ご参加お待ちしております。

卓話「地元経済紙からみた鳥取県の36年」

(株)山陰政経研究所 代表取締役

岡田健二さん

- * 発刊当時は山陰政経レポートでしたが、同じような名前の新聞があったため、旬刊政経レポートとなり、一般的には政経レポートで流布しています。発刊は昭和52年2月で、36年がすぎました。鳥取、倉吉、米子の各会頭さんたちの鳥取にも「経済の専門誌を」という熱い期待から出発しました。
- * オイルショックの時期は、為替レートの変動が

ら円高が追い打ちをかけ、鳥取家具工業、大鳥機工、倉吉の神鋼機器工業、鳥根の佐藤造機などが相次いで、経営危機になりました。このころは、倒産した会社の取材というものは気の重かったのを覚えています。会社側も口が重たく聞くほうも下手なことが聞きにくく、管財人が奥に陣取っており、大変つらい状況が伝わってきました。

- * 鳥取県の産業は農林水産業のほかに当時は繊維・縫製、木材・合板、家具、水産缶詰などが主流でしたが、徐々に建設土木、住宅、そして、電気部品へとかわっていきました。三洋の協力工場が次々に進出し、毎年のように工場を増設し、飛躍的に大きくなり、雇用も増えました。県内の経済に大きな影響力をもつようになりました。
- * この間に見逃してならないのが、公共事業の増加です。昭和40年代後半から土木建設業の急膨張、急成長がおこりました。鳥取も同様で、スコップ一つで身を起こして会社を大きくした立志相伝の土建業も創業者は多いのです。結果、約3000社の建設業が共存し、地域や系列の土建屋のボスや政治屋が公共事業工事を割り振りました。このころは、どんどん利益がでてみんなが儲かりましたが、今は無理です。現在県下では2200社に減り、厳しい状況です。
- * 小売り業では、当時私が担当であった倉吉では、倉吉パープルタウンができました。相次いで、倉吉ジョイニー、ダイエー、倉吉サンピアが続けて建設されましたが、その当時の倉吉は魅力があったのでしょうか、今は見る影もありません。その頃は鳥取も米子も商店街が元気で、駅前の近代化事業、政府からの融資補助もあり、鳥取ストアやシャミネ、米子ホープタウンができ、栄えていました。大規模小売店舗調整法が大型店舗立地法に変わり、小売業の様相がかわりました。今はほとんどだめです。
- * 大手ばかり儲かるかということそうでもないです。コンビニや多業種の低価格ディスカウントショップが現在、鳥取でも猛威を振るっており、価格の暴力に大手も勝てなくなっています。中心地市街地活性化事業や街づくり事業など補助金をだしても、過疎地域の活性化と同じことになると思います。
- * 最後、日銀の短観で県内経済も「緩やかな回復」とありますが、どうなるのでしょうか。企業誘致、震災復興、アベノミクス効果もあるでしょうが、一番大きいのは高速道路の整備そして観光だと思っています。ただ、まだ小さすぎて、とても三洋の抜けた穴を埋めるだけのものではありません。高度成長期のようなことは期待できませんが、小さくてもそれなりに豊かな地域として存在すればと思います。

次週例会予定

2013年9月27日(金) 第1595回例会
年次総会